

## 専門性に応じた協調学習マネジメント力の育成と評価手法の開発

大島律子, 大島純, 中澤高師, 宮崎真, 石川翔吾, 綱川隆司, 吉田真

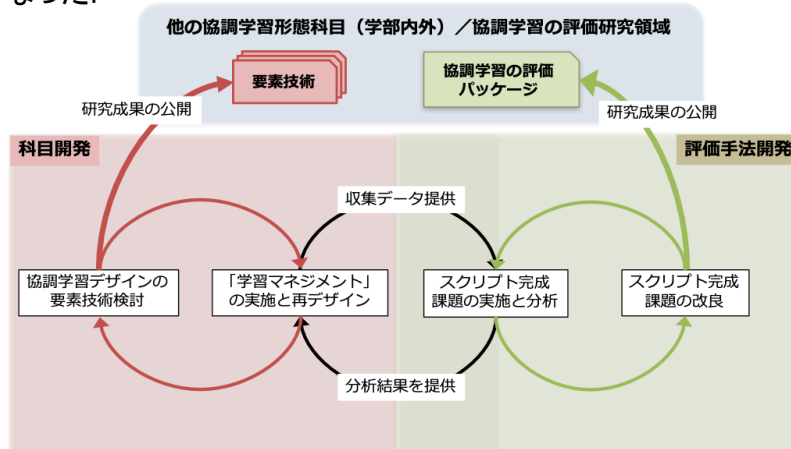
### ● 研究背景と目的

認識主体性とは、21世紀型スキルに代表されるように、他者と協調しながら未知・未解決の問題に進んで取り組み、創造的に解決を目指すとする複合的かつ社会的な力、協働の知を築くための諸能力のひとつである。この主体性は、学習者グループが協調して取り組む「課題」と「学習者間の社会的関係」を調整する重要なメタ認知的マネジメント能力として捉えられる。本研究ではメタ認知的マネジメント能力を育成するプロジェクト型学習の設計と、その効果を評価する手法を開発することを目的とした。

### ● 研究内容

#### ■ 概要

3年間にわたり科目開発と評価手法の開発をサイクル的に実施していくことで(下図)、互いの成果を踏まえながらそれぞれの改良を行うという方法をとった。これらサイクル的な活動を通じて、プロジェクト型学習をデザインする際の要素技術の導出と評価手法の確立を行なった。



#### ■ 成果

- プロジェクト型学習を成功させる上で必要となるメタ認知的マネジメント能力の評価手法として、Collaboration Scenario-based Scale for Emotion Regulation (CSSER)を開発
- プロジェクト型学習を用いた授業デザインのために導出した要素技術: ベース(核)となる授業構成とアレンジ, ジグソー法の適切な活用, 学習者自身による学習の定期的な振り返り

#### ■ 効果

- CSSERの開発により、学習前後の能力差をスキルレベルで測定することが可能な仕組みを実現
- プロジェクト型学習のデザイン要素技術の導出により、他科目への適用が可能

### ● 今後の展開

CSSERをwebシステムとして実現し、回答やその管理を容易にするとともに、収集した回答を自動的に評定するシステムの実現を予定している。